



収入支出ともに、ほとんどの項目で四国は首都圏を下回っています。四国の方が高い項目として、世帯主の配偶者収入と、その他の消費支出(仕送り金)が挙げられます。

【表4】月々の家計の比較(住宅ローン返済世帯のケース)

	四国		関西圏		首都圏	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
世帯人員	3.57人		3.73人		3.61人	
配偶者の有業率	63.3%		45.0%		51.3%	
世帯主の年齢	46.7歳		45.6歳		45.9歳	
平均世帯数	41.4		37.4		34.1	
経常収入	592,231円	100.0%	568,692円	100.0%	633,973円	100.0%
世帯主収入	449,570円	75.9%	496,990円	87.4%	535,012円	84.4%
定期収入	371,745円	62.8%	413,730円	72.8%	444,017円	70.0%
世帯主の配偶者の収入	101,848円	17.2%	51,889円	9.1%	70,037円	11.0%
実支出	457,923円	77.3%	433,781円	76.3%	471,190円	74.3%
消費支出	339,333円	57.3%	322,243円	56.7%	342,589円	54.0%
食料	70,561円	11.9%	75,494円	13.3%	78,279円	12.3%
住居(修繕費など)	3,654円	0.6%	5,079円	0.9%	7,085円	1.1%
光熱・水道	22,543円	3.8%	23,457円	4.1%	24,540円	3.9%
家具・家事用品	11,323円	1.9%	10,869円	1.9%	10,398円	1.6%
被服及び履物	14,600円	2.5%	14,006円	2.5%	16,189円	2.6%
保健医療	12,180円	2.1%	10,563円	1.9%	13,180円	2.1%
交通・通信	50,815円	8.6%	55,754円	9.8%	51,594円	8.1%
教育	24,481円	4.1%	28,107円	4.9%	37,232円	5.9%
教養娯楽	30,462円	5.1%	34,821円	6.1%	40,321円	6.4%
その他の消費支出	98,713円	16.7%	64,095円	11.3%	63,771円	10.1%
非消費支出	118,591円	20.0%	111,538円	19.6%	128,601円	20.3%
土地家屋借金返済	83,707円	14.1%	98,247円	17.3%	122,333円	19.3%
可処分所得(手取り収入)	485,191円	81.9%	465,975円	81.9%	517,540円	81.6%

出展：総務省「平成25年 家計調査」  
 四国＝四国 関西圏＝近畿大都市圏 首都圏＝関東大都市圏  
 世帯主収入には賞与の月割分含む  
 ※可処分所得とは、収入のうち税金や社会保険料を差し引いた、自由に使える手取り収入のことです。  
 ※家計調査は、標本調査であるため、調査項目によっては標本誤差が大きくなる場合があります。



首都圏に比べて四国の生涯黒字は1,111万円高くなっています。

【表5】

首都圏と四国の生涯収支平均比較(32～64歳)

	四国	首都圏	差額
実収入	24,892万円	26,688万円	1,796万円
実支出	16,819万円	19,735万円	2,916万円
消費支出	11,928万円	14,294万円	2,366万円
可処分所得	19,952万円	21,244万円	1,292万円
黒字	8,064万円	6,953万円	-1,111万円

出展：総務省「平成25年 家計調査」をもとに算出。  
 四国＝四国 関西圏＝近畿大都市圏 首都圏＝関東大都市圏  
 世帯主収入には賞与の月割分含む  
 ※総務省「平成25年 家計調査」をもとに条件を仮定して算出しているため、おおよその参考としてご覧ください。



首都圏に比べて愛媛県の平日の余暇時間は約50分多くなっています。

【表6】首都圏と愛媛県のサラリーマン1日の生活時間比較

	平日		休日			
	愛媛県	関西圏	首都圏	愛媛県	関西圏	首都圏
1次活動	578分	585分	564分	680分	678分	683分
2次活動	603分	617分	663分	281分	266分	250分
通勤・通学	71分	81分	128分	20分	21分	26分
仕事	476分	482分	492分	141分	127分	109分
3次活動	260分	237分	213分	480分	496分	507分

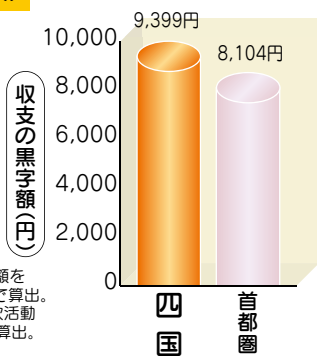
出展：総務省「平成23年 社会生活基本調査」  
 1次活動：睡眠、食事など生理的に必要な活動  
 2次活動：仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動  
 3次活動：1次活動、2次活動以外の各人が自由に使える時間における活動  
 調査対象：愛媛県＝愛媛県 片道通勤時間30分～1時間  
 関西圏＝近畿大都市圏 片道通勤時間30分～1時間  
 首都圏＝関東大都市圏 片道通勤時間1時間～1時間30分

## Aさん一家が選んだ愛媛暮らしの決め手!

### お金(収支の黒字額)

●1日で比べると

四国は1日当たり1,295円高く、仕事や通勤時間も73分少ない

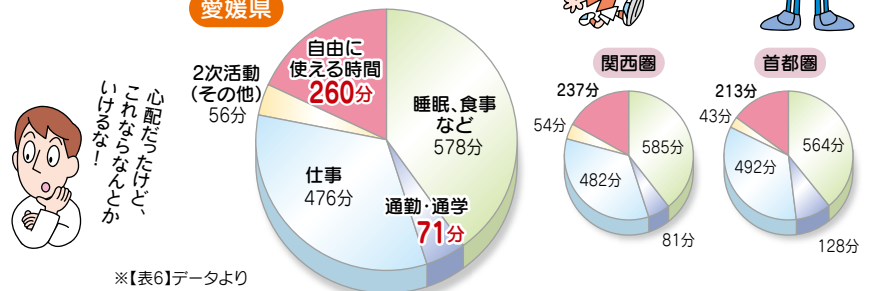


※【表5】データより、生涯黒字額を年260日労働とした日割りで算出。  
 ※【表6】データより、平日の2次活動時間(通勤+労働時間)から算出。

### 余暇(平日)

●1日で比べると

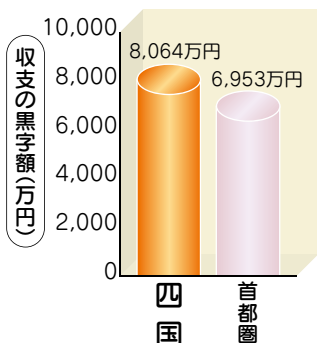
1日当たり約50分余暇時間が多い



※【表6】データより

●生涯33年(32～64歳)で比べると

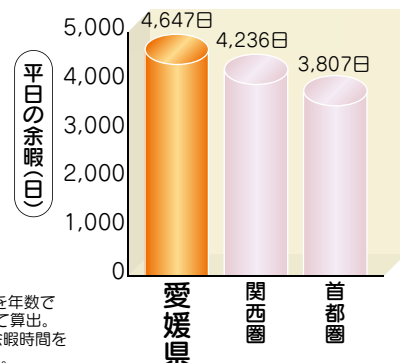
生涯黒字の差額は1,111万円



※【表5】データより

●生涯33年(32～64歳)で比べると

約2年3か月分の時間を多く使える!



※【表6】データより、平日1日の余暇時間を年数で積算し生涯時間として算出。年260日労働とし、余暇時間を1日8時間とした場合。

